

# さあ 今年もとびますよ!



## ●赤とんぼ意見広告も29回目

1982年の秋、「まるで坂道をころがり落ちるような状況が悪くなつてゆく」(安定多数を占めた自民党政権による改憲への動き、軍備の拡大、原発の推進etc)中で赤とんぼの意見広告運動は始まりました。当時の会報第1号には、言い出しっぱである寄村仁子さんの思いが語られています。「無視されてしまっている私達にもちゃんとした意見があることを示そう」ということになった。憲法九条を変えてはならない「こは どうしてもゆずれないところだから、まずこれを意見広告と

して新聞に出す……」

「家庭にこもつて暮している、おばあちゃんやお母さん達のもとに届くように呼びかけてゆきたいという願いは変わらない。他に何の効果もなくていい。このことで、言っても無駄と諦めている人達が何か言う気になってくれたら。今までになかった対話が生まれるだけでいい、祈るようにそつ思っている。」

●さて今年の意見広告、読売新聞への掲載をどうするか?

4月の総会では結論がでませんでした。後日(5月中旬頃)あの寄村さんから「筋として読売に掲載するべきではない」と電話がありました。「一寸の虫にも五分の魂」という思いで一人一人が精一杯の勇気を出して名前を連ね、平和への祈りを込めて憲法九条を守ろうという意志表示を続けてきたのに、それが読売新聞社という巨大な組織の圧力でもってねじ曲げられた。私達の公開質問状に対しては理由も明かさず、真摯に答えようとしない。こんな読売に敗れて再び掲載料を支払ってまで広告掲載を依頼することはない。」という内容です。事務局のメンバーも感情的に読売に行きたくないし、ま

No.195号  
2011年6月1日  
発行人 宮崎 優子  
事務局 日高 礼子  
☎ 097-544-8892  
FAX 097-544-8892

8.15  
新聞意見広告

デザイン画  
&  
キャッチ  
コピー

募集します!

6月30日(メ切)までに  
事務局にFAXまたは  
郵送でお願いします。

たあんなことで振り回されたくないというのが正直なところ。更に財政的にも不安です。そこで事務局からの提案として今年は読売への掲載をしないことにしたいのですが、如何でしょうか?とても残念な提案です。読売読者の皆さんや新聞社・広告社の方々とも思いを共有したかった。けれど巨大な会社組織の圧力はそんな個人の意志を潰してしまつて。「表現の自由」を標榜しておきながら……。いやいやこんなことにめげたいられません。いつの日か近い将来、再び読売が市民の「表現の自由」を保障し、誰からの圧力にも屈せず、に真実を報道する新聞社に変わることを願ってやみません。

赤とんぼ会報第一号の最後に、松下竜一さんは「小さな発意が全県下に広がる大きな波となり、更にそれが各県へと広がってゆくーそんな夢を抱いている。」と結んでいます。あれから30年、赤とんぼ意見広告運動は少しずつその夢に近づきつつあるかもしれません。命や環境を守ることを大切に思う一人一人が自分の発意で憲法九条を実現する行動を起こせるように、また今年も動き始めましょう。(日高礼子)

### 意見広告までの日程

7月2日(土) (13:00~ 大分市ライブバル) 第1回デザイン会議

7月16日(土) (13:00~ コンパル女性活動室) 第2回デザイン会議&集約作業

7月23日(土) (13:00~ コンパル女性活動室) 第3回デザイン会議&集約作業

7月31日(日) (13:00~ コンパル女性活動室) 〆切第4回デザイン会議&集約作業

以後随時校正作業

8月15日(月) 意見広告掲載

### お知らせ

皆さんの御意見をお寄せ下さい。  
6月から事務局の電話番号が変わります。新しい番号は電話、FAX 共に097-544-8892  
事務所を間借りしている「共同作業所ゆう」さんの電話と一緒にあります。住所はそのままで。  
土・日や夜間、緊急の場合の連絡は、  
090-6426-3875 (宮崎)  
又は090-1166-4218 (日高)まで

### おわび

変更が間に合わず、今回のチラシは以前の番号のままになりました。8月末までは番号案内があります。

# その戦闘機 必要ですか？

## FX機種選定に 震災の影響なし

開発国に説明会

防衛省は13日、F4戦闘機の後継となる次期戦闘機機種の選定のため、開発国やメーカーを対（FX）の機種選定のたため、開発国会を同省内で象にした説明会を開催した。FXの候補は、6機種開いた。国外メーカーの6機種で、9月末までにメーカーなどが提案書を提出する。防衛省は必要な性能などを記した提案要求書（RF P）を提示した。

▲朝日新聞4/14

## FX 艦隊の整備

防衛省は13日、空軍と海軍の共同で、米国の艦隊を支援するための整備計画を発表した。米国の艦隊は、米軍の艦隊と米海軍の艦隊とを合わせたもので、米軍の艦隊は、米海軍の艦隊と米空軍の艦隊とを合わせたものである。米軍の艦隊は、米海軍の艦隊と米空軍の艦隊とを合わせたものである。米軍の艦隊は、米海軍の艦隊と米空軍の艦隊とを合わせたものである。

▲毎日新聞4/14

新戦闘機の導入は2000年に配備されたF2以来で、1機100億円単位の巨大大事業。40機程度を導入する予定で、11年度から5年間の中期防衛力整備計画に「整備規模12機」を盛り込んだ。菅直人首相は震災後、北沢俊美防衛相の要請を受け、FX導入を計画通り進めることを了承。年内の機種決定と12年度予算で取得費用を計上する予定だ。

## 赤とんぼの会 2010年度会費会計報告

収入		
前年度繰越	2,910	
会費	129,000	89名
雑収入	221,819	意見広告積立金より
預金利子	47	
合計	353,776	
支出		
印刷費	58,905	機関誌192号～194号
通信費	65,720	機関誌発送費用他
家賃	24,000	2010/4・5・2010/10～2011/3
事務費	198	封筒代・インク代他
意見広告A	84,688	今年度の意見広告不足分
カンパ	20,000	日出生台の活動へ（前年度分含）
意見広告B	9,000	他の市民意見広告運動へ
合計	262,511	
収入	353,776	支出 262,511
		次年度繰越 91,265

## 読売新聞4/14

FX候補3機種 航空自衛隊の次期戦闘機（FX）の機種選定に向け、防衛省は13日、関係政府に対する説明会を開き、米、英両政府の代表（米英など）が出席した。米政府は「F35」と「FA18E/F」（米が開発）の2機種、英政府は「ユーロフアイター」（英独など）4か国が共同開発）をそれぞれ提案する。同省は1月をめぐって3機種に絞り込む方針。

## おすすめのDVD

「靖国の檻」65分（収録時間）¥2,500

昨年12月、大阪高裁から棄却された「靖国合祀イヤです訴訟」は上告、最高裁に舞台を変えてまた続く。原告団長である菅原龍憲氏が各地の原告を訪ね、彼らのそして自らの「靖国」を問うドキュメンタリー。

注文はTEL&FAX 0854-82-1463まで事務局にあります。秋の総会で鑑賞したいと思います。

# 高校生の手で真の平和を築こう

## ～高校生一万人署名活動in大分～

### ① 高校生一万人署名活動について

この活動は、核兵器廃絶と平和な世界の実現を目的としている。発祥地は被爆地・長崎で、実行委員は全て高校生。八月に署名を集約し、「高校生平和大使」が国連欧州本部（スイス・ジュネーブ）に届ける。国連訪問は1998年に始まり、以後毎年、平和大使は被爆者の想いを英語でスピーチし、伝え続けてきた。

### ② 大分県で活動が始まったきっかけ

高校生一万人署名活動並びに高校生平和大使の取り組みは、広島、熊本、鹿児島、福岡、神奈川へと輪が広がっている。

大分でも若者の心に響く平和教育を進めようと、平和教育推進団体が彼らの若さとパワーに着目した。その紹介もあり、一昨年の夏から県内のある高校では平和学習の講師として平和大使を招き、一緒に長崎で署名活動を行うなどの交流が始まる。昨年夏、平和大使が大分県立宇佐高等学校を訪問したのは、こうした活動で大分に足を運んだ時のことだった。宇佐高前期生徒会執行部数名が彼らと出会い、自分たちもやってみたくていいよと言いつつ、そこでまず校内の文化祭で全校生徒を対象に署名活動を試みた。後期生徒会でも継続して取り組み、数か月をかけて全校生徒の約3分の2の署名を集めることに成功。今度は近隣校（宇佐・豊後高田・中津市内）の高校生有志とともに、街頭署名活動に乗り出した。この動きに、大分市の高校生たちからも活動したいという声上がり、核兵器廃絶に関心のある高校生、ボランティアに興味のある高校生たちが集合。今年の3月5日（土）宇佐市内・6日（日）大分市内で、本格的な実施に踏み切った。



### ③ 高校生の平和への想い

さて、今時の高校生が、ヒロシマ・ナガサキの悲惨さをどれだけ理解し、この活動に想いを持って携わっているのか。

宇佐市・大分市両会場で、応援にかけつけた長崎の平和大使たちと交流会を設定した。そこで大分県内の高校生たちの口を衝いて出た言葉は、学校の平和学習を通して培われた反戦への想いや、被爆した親戚の話だった。平和教育は風化しつつあると頭を抱えてきた私たち。しかし、決して無駄ではなかったことを彼らは証明してくれた。ヒロシマ・ナガサキは、大分県内に住む彼らにとって必ずしも遠い存在ではなかったようだ。我々大人はもっと胸張って、平和を語っていいよ。

ヒロシマ・ナガサキは、大分県内に住む彼らにとって必ずしも遠い存在ではなかったようだ。我々大人はもっと胸張って、平和を語っていいよ。

### ④ この署名活動の意義

この活動の意義は二つある。一つは普通の高校生でも社会を動かす力（例え微力でも）になり得ると信じ、世界に想いを発信することで、彼らと社会との間に良い刺激が生じること。街頭で活動すると、毎回「高校生でもこういうことに関心を持ってくれる人たちがいるんですね」という強い眼差しに出会う。若者の真っ直ぐな想いと屈託のない笑顔は社会に希望を与え、若者は社会に受け入れられていると感じることが次の活動のバネになる。

もう一つは、学校の垣根を越えてたくさんの仲間とつながり合い、本音を言える場ができること。おかしいことにはおかしいと声を上げるためには、共感力を合わせてもの言う仲間が必要だ。

ここに、これからの平和教育のヒントが隠されているように思う。戦争未体験者である若者に、戦争の恐ろしさに対する知識を授けるのは限界がある。しかし平和実現に向けての行動力を引き出すことは十分可能だ。ポイントは、若者の力を信頼し、社会での活動の場と、語り合える場を設けていくこと。「ピリョクだがムリョクではない」を合い言葉に、5月3日（火）、高校生一万人署名活動大分支部は創立集会を持ち、正式に歩み始めた。

# どきどき虫のせむし



何というのか、ただ自然の猛威というしかない、大地震に続く大津波、流される家、人々、物、いのちに、テレビの映像の前に立ちすくんでしまう。この自然の力に對して怒ることも抗する事も出来ず、思わず手を合わせて祈る。そこへ追いかけるように原発である。原発ばかりは、自然の猛威ではなくすべて、まさに人間の作ったものである。しかも、安全だ安全だと打ち消しても打ち消しても、いつかはこうなるという結果は、見えていたのだ。色も匂いもない原発の風は、福島第一原発から20km、30kmと、静かに毒をまき散らす人々は逃げまどいながらも、かつて住みなれた地へ帰ろうとする。毒の水は、海へも流された。海は色も匂いも変わらず、死の海へと変ってゆく。放射能の実態は実は誰も知らない。ただ、変な言葉―シーベルトレベル―聞いたことも数えたこともない数字で、我々には知らされる。そして必ず、彼らはいふ。それらを何年、飲んで、食べても人体に影響はありません。チェルノブイリよりずっと安心です。

そうです「日本の原発は絶対安全です。」と言い続けてきて、今日この現実の前にまだ安全説を唱えている。子供たちをどう守ればよいのか、放射能まみれの空気を、きれいな水と空気に。

人間の作った原発、日本で作ったこの原発の始末は、人間が、日本人が、何とかしなければならぬのではないだろうか。

かつて、原発反対の声をあげたとき、あの声はもっと激しく、原発の狼煙となるべきであったのに。大きな力となり得なかった。いまさら、悔いても仕方がないけれど、何かすること、出来ることあるだろうか。

被災地の方々にはせめて温暖な気候と温かいおいしい食べ物。一日も早い平安な日常を祈るのみである。(み)

## 憲法・教育基本法・市民連続講座2011

### 『奇跡の海 上関』

～大分の地から原発建設計画を問う～

とき 6月4日(土) 13:30～  
 ところ 大分市コンパルホール304  
 ゲスト 高島美登里さん  
 (長島の自然を守る会)  
 主催 市民連絡会おおいだ  
 問合せ 090-4583-8797 (池田)

## 立ち止まって考えよう 一原子力の平和利用 は可能なのかー

<講師> 小坂 正則さん  
 自然エネルギー推進ネットワーク  
 <とき> 6月8日(水)  
 午後2:00～4:00  
 <ところ>  
 コンパル多目的ホール  
 <主催>  
 宗教者9条の会・大分  
 <問合せ>  
 0977-84-2257(日野)

## 大分県母親大会

「だまし世を行き知る知恵」  
 福島原発事故から見えてくるものー  
 <講師> 安齋 育郎さん  
 工学博士・放射線防護学  
 <とき> 6月26日(日)  
 午前10:00～  
 <ところ>  
 コンパル多目的ホール  
 <資料代>  
 700円  
 <問合せ>  
 097-568-8931

## 平和のための戦争展in大分

「大衆文化に見える  
日本人の戦争観」  
 ～原爆から原発～  
 <講師> 田中 利幸さん  
 広島市立大学・平和研究所教授  
 <とき> 7月24日(日)  
 午後2:00～  
 <ところ>  
 大分市文化会館第一小ホール  
 <協力券>  
 500円  
 <問合せ>  
 090-2087-1186(長野)

## 憲法を活かして平和を作る 講師 伊藤 千尋さん ～68カ国を取材して～

- 臼杵  
 とき 6月25日(土)  
 18:30～20:00  
 ところ 野津中央公民館  
 料金 前売大人500円  
 (当日600円)  
 連絡先 090-5725-6187  
 (奥田)
- 別府  
 とき 6月26日(日)  
 午前10:00～12:00  
 ところ 別府市社会福祉会館  
 多目的大広間  
 参加券 前売大人500円  
 (当日600円) 高校生以下無料  
 問合せ 0977-23-7431  
 (瓜生田)
- 中津  
 とき 6月26日(日)  
 午前15:00～17:00  
 ところ 中津下毛教育会館  
 (加来1540-1)  
 協力券 前売大人500円  
 (当日600円)  
 主催 中津9女の会他  
 問合せ 0979-23-1134  
 (梶原)

## 声に出して読んでみましよう憲法九条

『戦争の放棄、戦力の不保持・交戦権否認』  
 ①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。  
 ②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

赤とんぼの会事務局 〒八七〇〇八五五 大分市豊饒四組 みんなの家  
 TEL/FAX 097(544)8892(郵便振込)0154010112160  
 ホームページ <http://aka-tombo.com/> <メール> [aka-tombo@hotmail.co.jp](mailto:aka-tombo@hotmail.co.jp)